

~2024年11月度~
スポットワークマーケット データレポート



TRI ツナグ働き方研究所
TSUNAGU work style Research Institute

ツナググループのシンクタンクとして、調査・研究を行っています。

ツナグ働き方研究所は、多様な働き方と労働市場基盤整備を目的に変化する労働法制を分析し、企業に役立つ解説と提言を使命とするシンクタンクです。



ツナグ働き方研究所について

ツナググループを母体とする「多様な働き方」の調査研究機関（2015年設立）。研究所では、企業人事や労働法制の分野で活躍する識者らとともに、施行される労働法制の要所と着眼点を解説していくほか、改正に至るまでの経過や背景も記録・分析しながら「あるべき姿」を提言。「働く」を取り巻くあらゆる労働法制の調査・研究機関として「雇用の未来」を拓きます。

ツナグ働き方研究所 概要

日本の社会課題である「2030年労働需給GAP解消」を目指す、ソリューションカンパニーであるツナググループは、コンサルティング×RPO(採用代行)×データベースを基軸事業として、従業員1,000名を超える大手企業を中心にあらゆるソリューションを提供しております。



研究所設立後、約10年を経て新しい布陣でさらに価値ある調査・研究を実施。

派遣法、職安法、雇用機会均等法など労働関連の法律のプロフェッショナルであり、各種人材関連の業界団体に対して多数のパイプを持つ大野 博司が所長に就任。

ツナグ働き方研究所 所長

大野 博司

2024年9月1日就任

厚生労働省の職業安定局、労働基準局などの政策を中心に取材・執筆を行い、また日本外国特派員協会会員の労政ジャーナリストとして、オランダ政府招聘による欧州の労働政策のほか、アメリカ、香港・広州、ベトナムなどを訪問して雇用現場の最前線で取材をこなす。

1970年青森県生まれ。

中央大学大学院戦略経営研究科（MBA）修士。

1994年日本新聞協会加盟の地方紙に入社。社会部と政経部で教育、スポーツ、核燃料サイクル、水産、港湾物流などを担当し、2004年に報道デスクに就任。以降、東京支社で国会取材兼論説委員等を担当。韓国、中国、オーストラリアなど海外での取材も担当し、2006年のイタリア・トリノ五輪の現地取材を担当した。2010年にインターネット報道を主体とする雇用労働の専門媒体・株式会社アドバンスニュース（日本インターネット報道協会加盟）の設立に参画し、現職は代表取締役（主筆）。アドバンスニュースの職責のほか、日本外国特派員協会会員の労政ジャーナリストとして人事系月刊誌などに執筆・寄稿を行う。



●定期発表レポート

月次労働市場データレポート

月次有効求人倍率速報

スポットワークマーケットレポート

●代表的なセミナー/出版活動

セミナー

『派遣事業を取り巻く最新情勢と労働法制の舞台裏』

『変わる労働法制～2024年の要所と展望』

出版

『派遣法・抜本改正の爪痕（キロク） 報道現場からの
真実の叫び―淘汰と再編が加速する人材業界』（2016年
アドバンスニュース）

『実務詳解 職業安定法（共著）』（2023年 弘文堂）

スポットワークマーケットを定点観測する意義

○マーケットの定義

スポットワークとは、短時間・単発で働く「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

○マーケットの現状

スポットワーカーは、働き方改革法案の施行、コロナ禍を契機に急増しています。

個人) 働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少は、追加で収入を得たいという働き手を増加させました。

企業) 収益確保、生産性向上の観点から、ムダやムラのない＝必要な時に必要な数だけ人材を配置する最適化思考が高まりました。

技術) テクノロジーの進化により、タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者が増えました。

「短時間・単発で働く」というワークスタイルは、今後さらに広がりを見せていくことが予想されます。

○定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加して「短時間・単発で働く」ことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的には、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした観点からも、スポットワークマーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化することには、おおいに社会的意義がある。我々、ツナグ働き方研究所は、そう考えます。

第Ⅰ章 未活用労働指標

第Ⅱ章 スポットワーク求人倍率

第Ⅲ章 スポットワーク平均賃金



概況 2024年11月度

スポットワーク求人倍率

前月差+0.64ポイント、
前年同月差+0.26ポイント。

↑ **3.66** 倍

新規ワーク数

94,929万件。
前月比+1.0%、前年同月比-10.7%

↓ **9.5** 万件

追加就労希望就業者※2024年7-9月

4-6月差10万人減、
前年同期差8万人減。

↓ **185** 万人

職種別スポットワーク求人倍率

キャンペーン・PR系が、23.85倍で
最も高い（前年同月差+9.83ポイント）

↑ **23.85** 倍
(キャンペーン・PR系)

スポットワーク平均賃金

前月差+12円、前年同月差+26円。

↑ **1,208** 円

アルバイト賃金との比較

三大都市圏のアルバイト平均賃金は1,221円、
スポットワーク平均賃金は1,208円。

- **13** 円

地域別スポットワーク求人倍率

東海が6.25倍で、群を抜いて高い。

↑ **6.25** 倍
(東海エリア)

職種最高賃金

最も賃金が高いのは、倉庫内・軽作業。
前月から+18円、前年同月から+7円。

↑ **1,236** 円
(倉庫内・軽作業)

職種賃金比較

アルバイト賃金と比較して、最も賃金格差が大きいのは
倉庫内・軽作業

- **37** 円

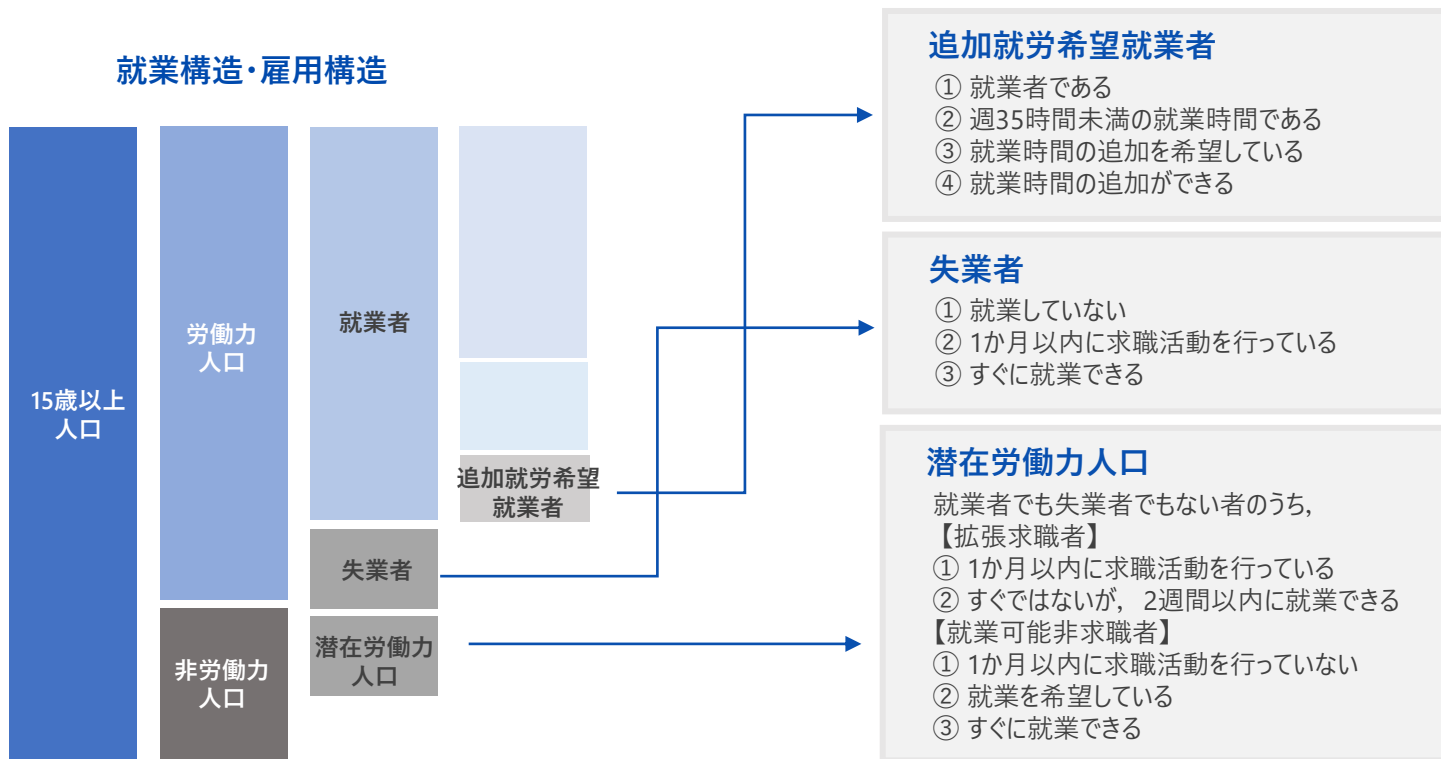
※矢印は対前年同月比





第 1 章 未活用労働指標

未活用労働指標の解説

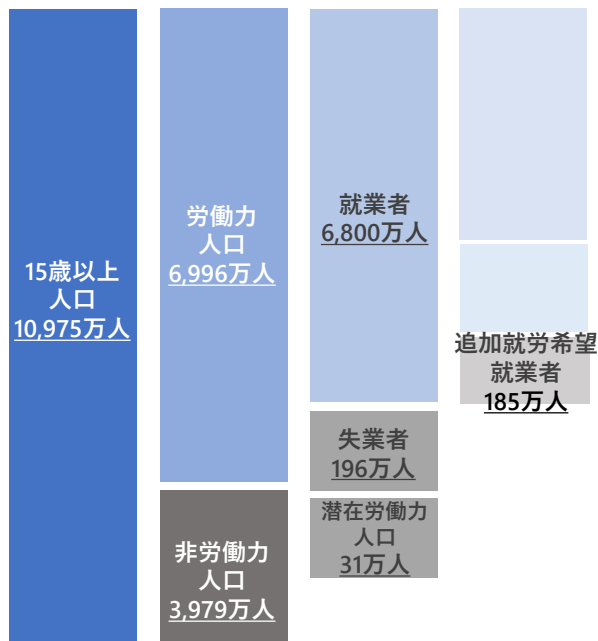


未活用労働指標/2024年7-9月

再掲

2024年7-9月の失業者は196万人、追加就労希望就業者185万人。

就業構造・雇用構造



未活用労働指標1 (LU1)

$$\frac{\text{失業者}}{\text{労働力人口}}$$

2.8 %

未活用労働指標2 (LU2)

$$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者}}{\text{労働力人口}}$$

5.4 %

未活用労働指標3 (LU3)

$$\frac{\text{失業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}}$$

3.2 %

未活用労働指標4 (LU4)

$$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}}$$

5.9 %

追加就労希望就業者推移（季節調整値） / 2020年7月～2024年9月

再掲

2024年7-9月期の追加就労希望就職者は前年同期（2023年7-9月期）より8万人減。

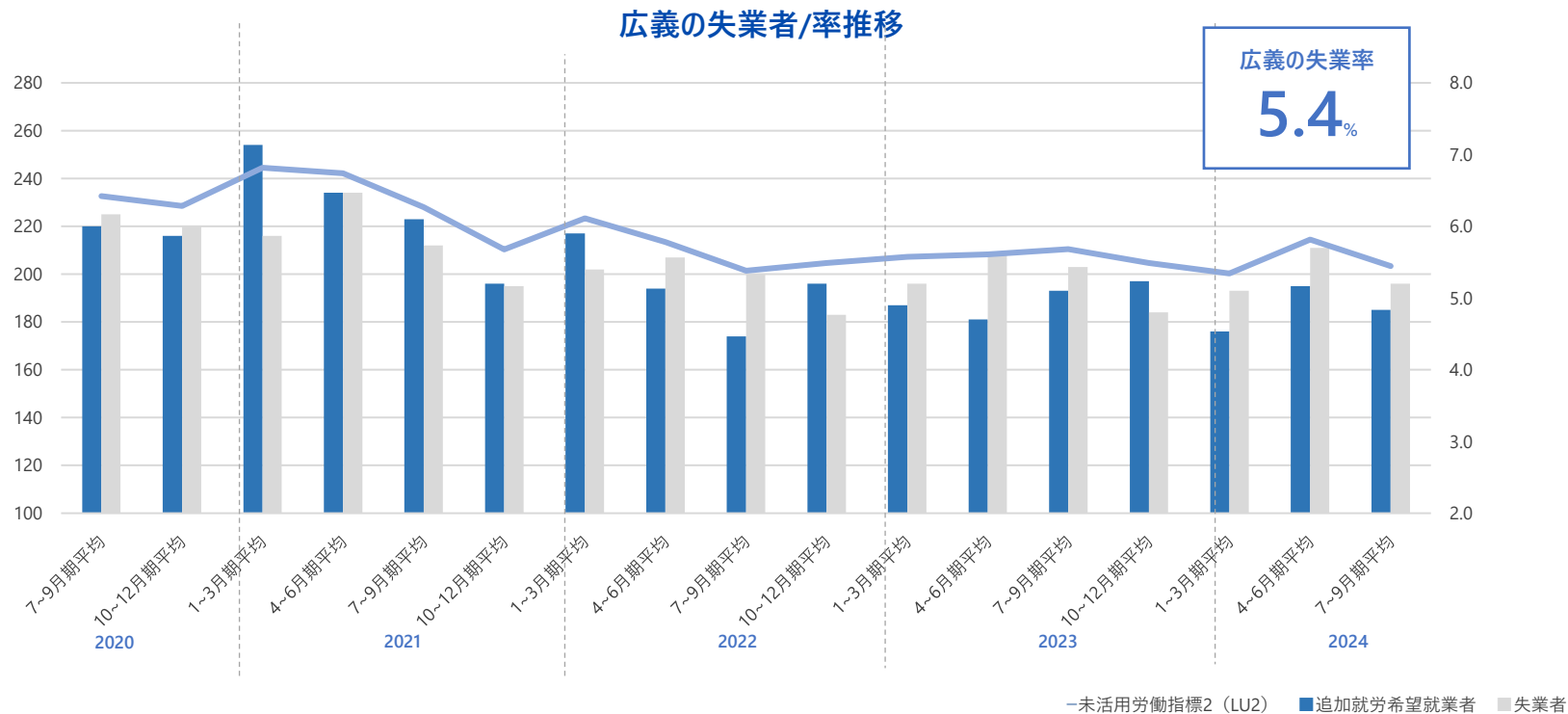


出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2024年(令和6年)7~9月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

広義の失業者/失業率（季節調整値） /2020年7月～2024年9月

再掲

失業者と追加就労希望就業者を足した「広義の失業者」は381万人。LU2にあたる「広義の失業率」は5.4%。



出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2024年(令和6年)7～9月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

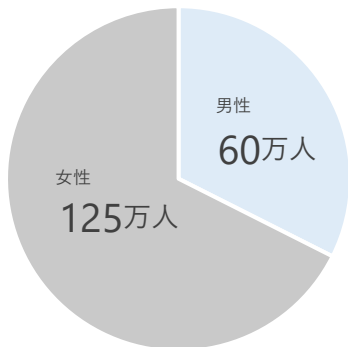


追加就労希望就業者 男女別×年齢階級別（季節調整値） /2024年7-9月

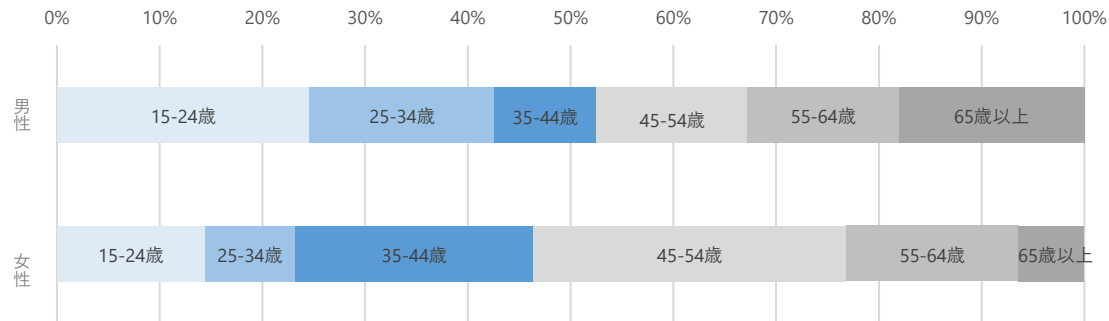
再掲

2024年7-9月期の追加就労希望就職者は前年同期（2023年7-9月期）より8万人減少。

男女別 実数



年齢別 割合



	総計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
男女計	185	33	22	34	46	30	19
男性	60	15	11	6	9	9	11
女性	125	18	11	29	38	21	8
前年同月比							
男女計	-8	4	-2	-5	-5	-2	0
男性	8	4	4	0	2	-1	0
女性	-16	0	-6	-4	-5	-1	0

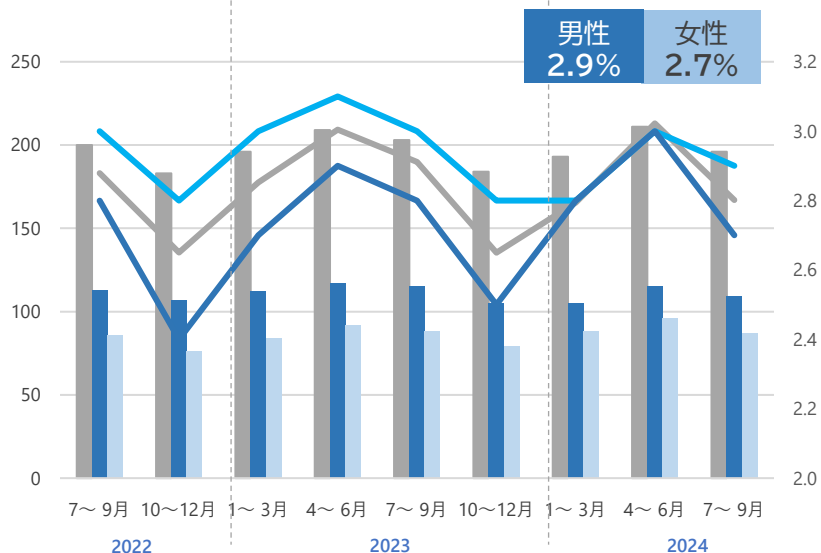
出典）総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2024年(令和6年)7～9月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>



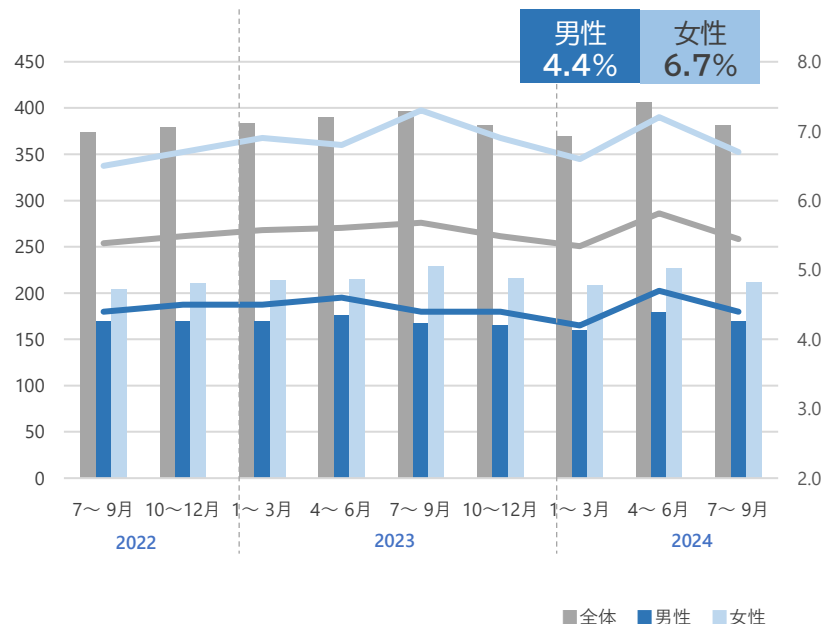
男女別未活用労働推移/2022年7月～2024年9月

未活用労働指標1（LU1）は男性2.9%/女性2.7%。未活用労働指標2（LU2）は男性4.4%/女性6.7%。

未活用労働指標1（LU1）



未活用労働指標2（LU2）



出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2024年(令和6年)7～9月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

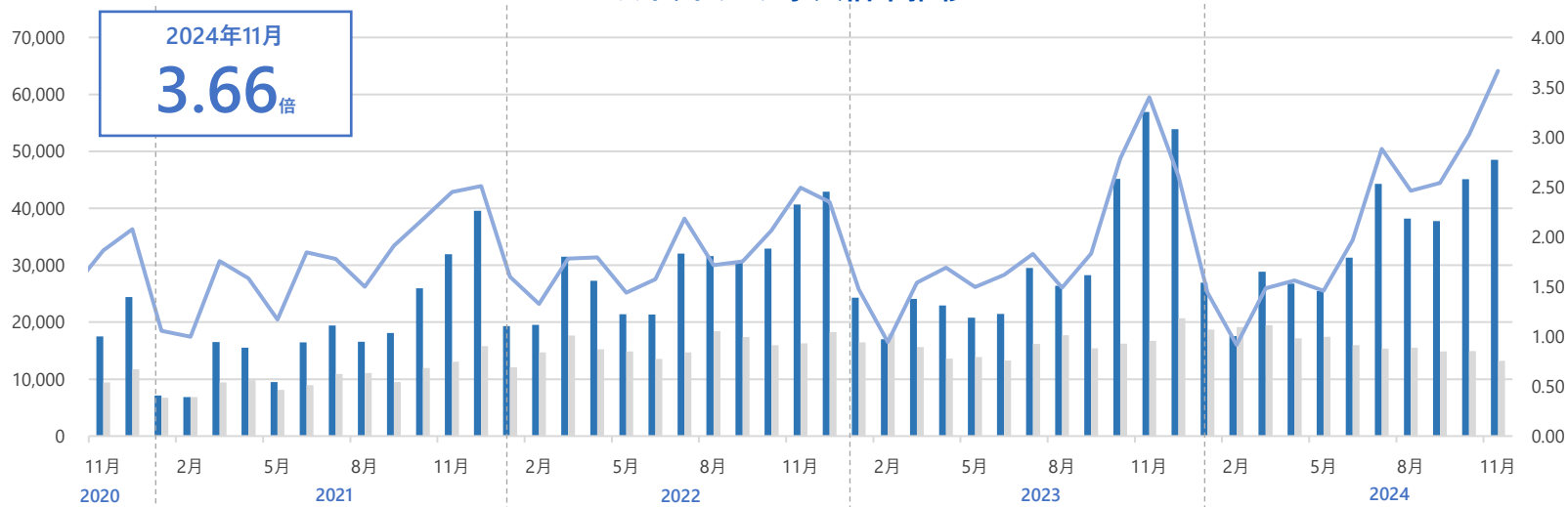


第II章 スポットワーク求人倍率

スポットワーク求人倍率推移/2024年11月

2024年11月度のスポットワーク求人倍率は3.66倍（前月差+0.64ポイント、前年差+0.26ポイント）と、定点観測を始めから過去最高の求人倍率となる。

スポットワーク求人倍率推移



	当月	前月差	前年同月差	前月	前年同月
— 求人倍率	3.66 倍	0.64	0.26	3.02 倍	3.40 倍
■ 求人数	48,500 件	7.5%	-14.8%	45,106 件	56,930 件
■ 求職者数	13,235 人	-11.3%	-21.0%	14,913 人	16,743 人

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020年11月～2024年11月データを加工
 ■ 求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数：当月登録UU数 + 前月以前登録者の応募UU数

職種別スポットワーク求人倍率/2024年11月

キャンペーン・PR系が23.85倍と最も高く、前年より+9.83ポイントと前年からの伸び率も最も伸長している。

職種名	2020	2021	2022	2023	2024	前年差
	11月	11月	11月	11月	11月	
イベントスタッフ	0.93	1.19	1.24	1.28	2.17	0.89
飲食・フード	3.17	2.85	2.78	2.43	2.83	0.40
倉庫内・軽作業	1.81	2.56	2.51	2.47	2.66	0.19
組立工	2.26	2.84	2.97	2.64	2.46	-0.18
コンビニスタッフ	4.36	5.35	6.91	6.23	6.07	-0.16
キャンペーン・PR系	5.98	8.69	19.49	14.02	23.85	9.83
運送・ドライバー系	4.31	6.85	10.05	15.66	16.14	0.48

職種名	2023	2023	2024	2024	2024	2024	2024	2024	2024	2024	2024	2024	2024	前月差
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
イベントスタッフ	1.28	1.08	0.66	0.53	0.76	0.75	0.61	0.74	1.26	0.99	1.19	1.55	2.17	0.62
飲食・フード	2.43	2.19	1.12	0.53	2.03	1.09	0.89	0.93	2.39	1.58	2.11	3.47	2.83	-0.64
倉庫内・軽作業	2.47	1.85	1.06	0.76	1.41	1.57	1.35	1.60	2.23	2.19	2.10	2.20	2.66	0.46
組立工	2.64	2.12	0.95	0.81	1.59	1.31	2.02	1.58	1.63	1.20	1.27	2.05	2.46	0.41
コンビニスタッフ	6.23	7.16	6.21	4.99	5.94	7.03	6.21	6.04	6.76	6.05	5.90	6.16	6.07	-0.09
キャンペーン・PR系	14.02	17.24	7.77	5.77	4.48	7.82	10.50	21.04	24.84	24.97	28.70	32.29	23.85	-8.44
運送・ドライバー系	15.66	16.34	2.32	2.03	3.22	3.34	1.78	3.85	10.41	7.09	9.26	10.53	16.14	5.61

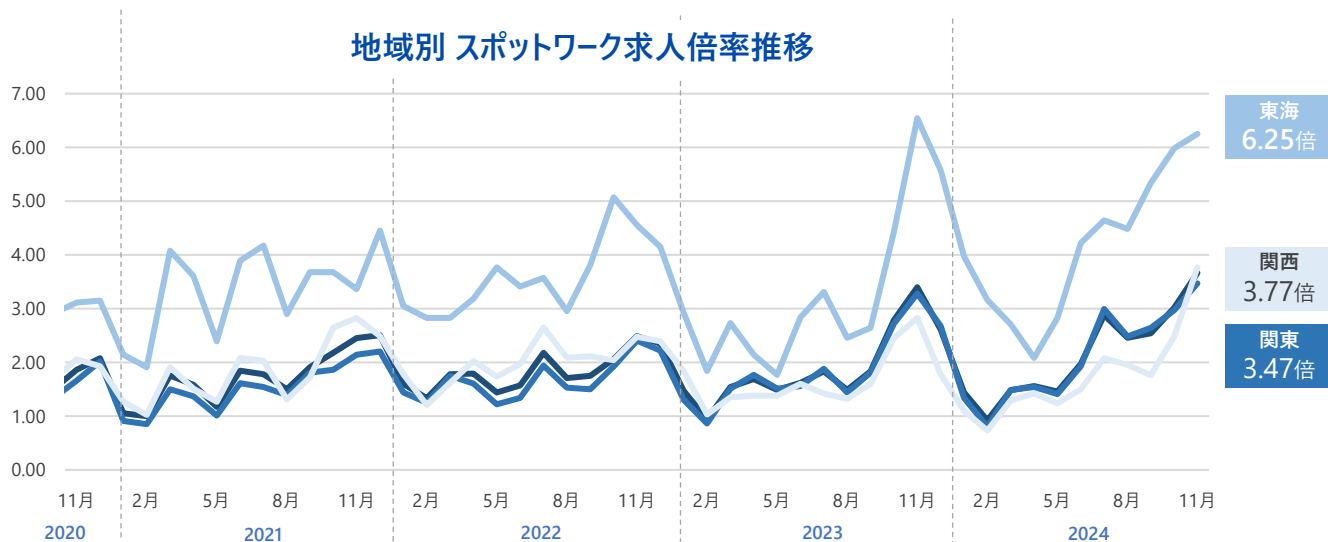
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020年11月～2024年11月データを加工

■ 求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数：当月登録UU数 + 前月以前登録者の応募UU数



地域別 スポットワーク求人倍率推移/2020年11月～2024年11月

地域別 スポットワーク求人倍率は東海が6.25倍と群を抜いて高い。

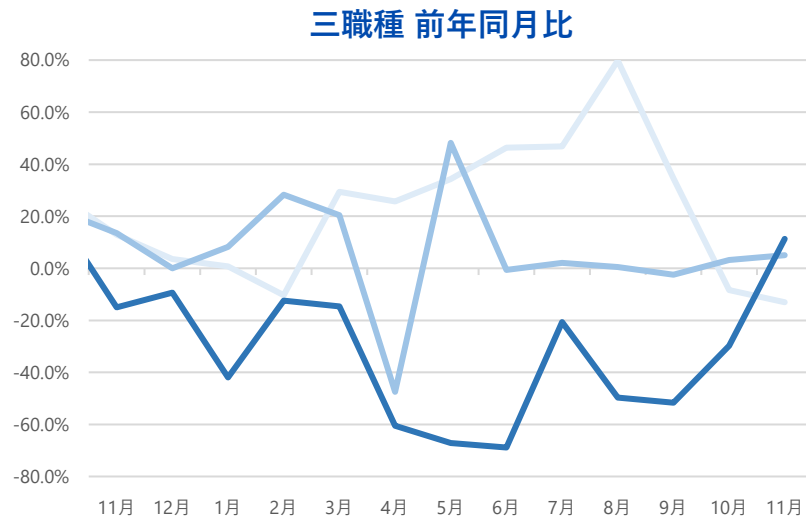
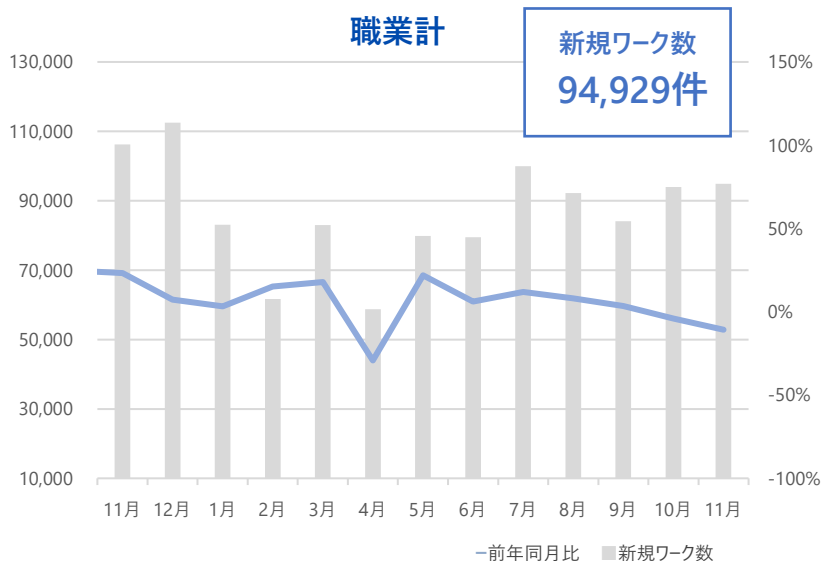


	当月	前月差	前年同月差	前月	前年同月
■全国	3.66 倍	0.64	0.26	3.02 倍	3.40 倍
■関東	3.47 倍	0.50	0.19	2.97 倍	3.28 倍
■東海	6.25 倍	0.27	-0.29	5.98 倍	6.54 倍
■関西	3.77 倍	1.29	0.94	2.48 倍	2.83 倍

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020年11月～2024年11月データを加工
 ■求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：当月登録UU数 + 前月以前登録者の応募UU数

職種別新規ワーク数・伸び率推移/2023年11月～2024年11月

景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は94,929件（前月比+1.0%、前年比-10.7%）。



	当月	構成比	前月比	前月	前年同月比	前年同月
■ 職業計	94,929 件	100.0%	1.0%	93,987 件	-10.7%	106,275 件
■ 倉庫内・軽作業	27,231 件	28.7%	15.6%	23,557 件	-13.0%	31,312 件
■ コンビニスタッフ	42,469 件	44.7%	-5.6%	44,993 件	5.0%	40,450 件
■ 運送・ドライバー系	8,394 件	8.8%	8.1%	7,762 件	11.4%	7,538 件

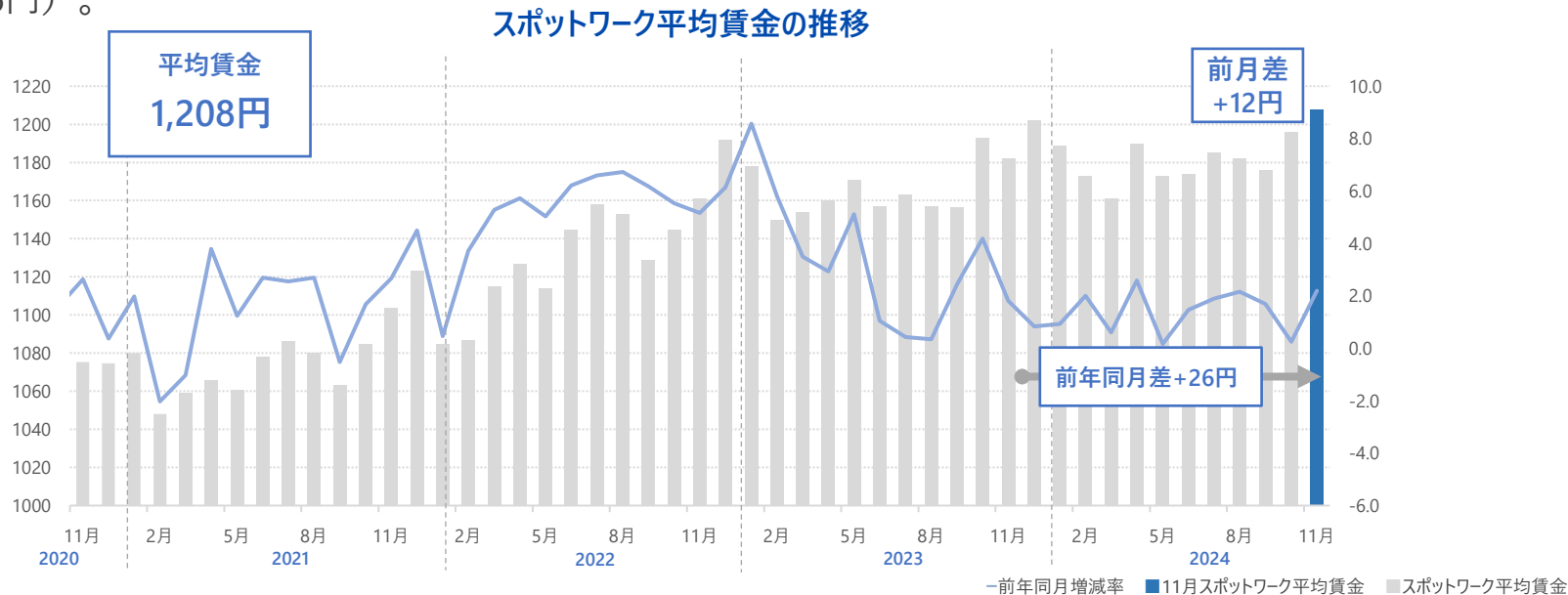
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2023年11月～2024年11月データを加工



第III章 スポットワーク平均賃金

スポットワーク平均賃金の推移/2020年11月～2024年11月

2024年11月度のスポットワーク平均賃金（首都圏・関西圏・東海圏の三大都市圏）は1,208円（前月差+12円、前年同月差+26円）。



	平均時給	前月差	前年同月差	前月	前年同月
三大都市圏	1208円	12円	26円	1196円	1182円
首都圏	1240円	1円	40円	1239円	1200円
東海	1201円	23円	77円	1178円	1124円
関西	1227円	31円	10円	1196円	1217円

出典）単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均賃金2020年11月～2024年11月データを加工

スポットワーク・アルバイト賃金比較/2020年11月～2024年11月

通常のアルバイト平均賃金（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）とスポット賃金の比較では通常
のアルバイト平均賃金が13円高い。



	平均時給	前月差	前年同月差	前月	前年同月
■スポットワーク平均賃金	1208円	12円	26円	1196円	1182円
■アルバイト平均賃金	1221円	9円	43円	1212円	1178円

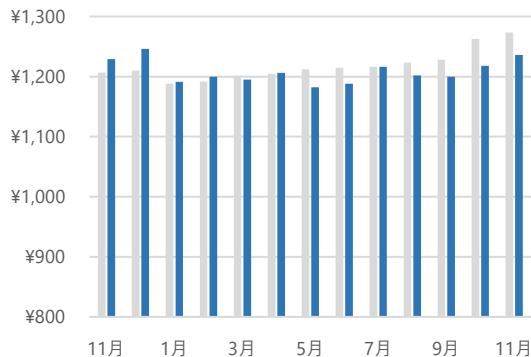
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均賃金2020年11月～2024年11月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2020年11月～2024年11月を加工



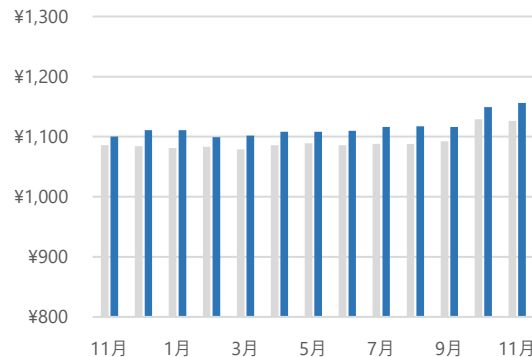
スポットワーク・アルバイト賃金比較（主要職種） / 2023年11月～2024年11月

スポットワーク平均賃金で最も高いのは、1,236円の倉庫内・軽作業。アルバイト賃金と比較して、最も賃金格差が大きいのは倉庫内・軽作業でアルバイト賃金が37円高い。

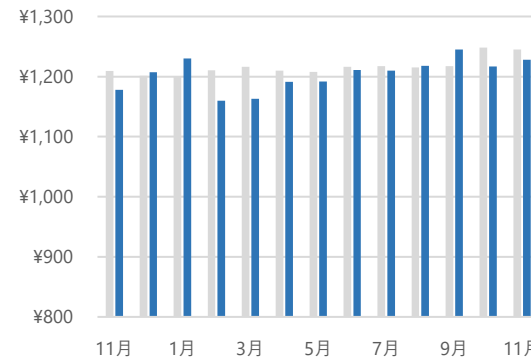
倉庫内・軽作業



コンビニスタッフ



運送・ドライバー



	スポットワーク平均賃金	アルバイト平均賃金
倉庫内・軽作業	1236円	1273円
コンビニスタッフ	1156円	1126円
運送・ドライバー	1228円	1245円

■ スポットワーク平均時給 ■ 通常アルバイト平均時給

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2020年11月～2024年11月データ
 リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2020年11月～2024年11月を加工
 注) アルバイト賃金の「コンビニ」はリクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」における「コンビニスタッフ」を適用
 「運送・ドライバー」は「ドライバー・配送・デリバリー」「ドライバー（中型・大型・バス・タクシー）」の平均値を適用
 「倉庫内・軽作業」は「物流作業」「発送・仕分け・梱包」の平均値を適用

ディスクレーマー

本資料は、労働市場の調査研究・労務関連情報・政策提言について検討するための参考に資することを唯一の目的として作成、提出されたものであり、他の一切の目的のために作成されたものではありません。



